

「ご存じですか?」成年後見制度

市成年後見支援センター(市民福祉部内) ☎(88)9178

身寄りがなく介護サービスの契約ができない、悪質商法の被害を受けた、物忘れが増えお金の管理に不安があるなどの悩みを抱えている人は身近にいませんか。「成年後見制度」は、認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない人の財産や権利を守るための制度です。

後見人等の役割

後見人等は、本人に代わって

財産の管理や日常生活の支援を行い、不利益を受けないようにします。

財産、年金や日常生活費などを管理します。通帳や証書の保管なども行います。
日常生活の支援 介護・福祉サービス利用手続き、入院手続きや費用の支払い、施設入所契約や要介護認定の申請などを行います。
※後見人等であっても次の行為はできません。
▼入院などの身元保証人や身元引受人になること
▼実際に介護をすること
▼手術など医療行為の同意をすること

財産の管理 預貯金や不動産

任意後見と法定後見

区分	対象者	後見人等の選任方法	支援内容
任意後見	将来に備える人	自分で選んだ人を任意後見人にする事ができる	判断能力があるうちに任意後見人と相談した内容(財産管理など)
法定後見	補助	家庭裁判所が補助人、保佐人、後見人を選任する	一部の契約・手続などの同意・取消や代理
	保佐		財産上の重要な契約などの同意・取消や代理
	後見		全ての契約などの代理・取消

任意後見制度の利用

上の表のとおり、成年後見制度は「任意後見」と「法定後見」に区分されています。任意後見制度を利用するに

▼本人の身分に関わる行為(結婚など)を本人に代わって行うこと など

法定後見制度の利用

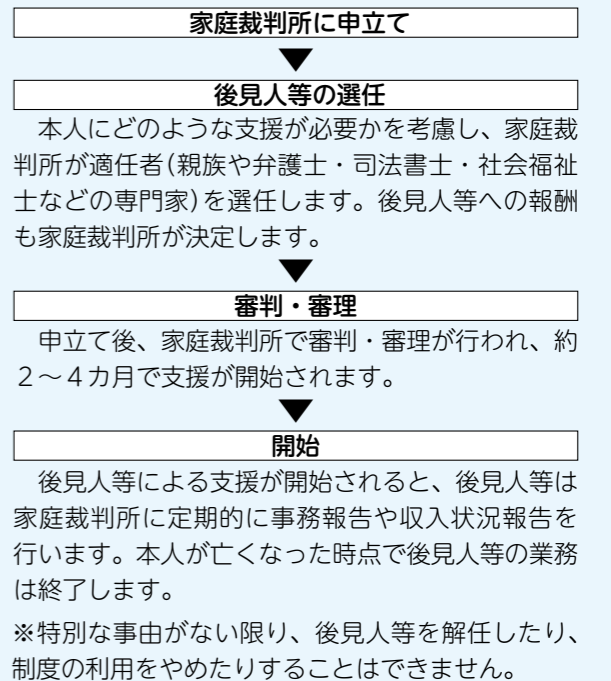
本人の居住地を管轄する家庭裁判所に申立て手続きが必要で、後見制度の開始までの流れは右の図のとおりです。家庭裁判所に申立てができる人 本人、配偶者、四親等以内の親族 など
申立てに必要な書類 申立

は、公証役場で公正証書による契約が必要です。本人の判断能力が低下し、家庭裁判所が認めた時点から後見活動が開始されます。

安心して生活や財産・権利を守るために

市成年後見支援センターでは、社会福祉協議会や地域包括支援センター、基幹相談支援センターとともに制度の利用を考えている人の相談を受け付けています。詳しくは、市成年後見支援センター(市民福祉部内)までお問い合わせください。 ☎(88)9178

法定後見制度の開始までの流れ



文化センター自主事業

音楽と朗読で楽しむ世界の名作



指揮者・工藤俊幸さん



俳優・木村多江さん



山形交響楽団の奏でる表現豊かな演奏をお楽しみください

文化センター ☎(76)7777

3月30日、文化センターで「山形交響楽団ドリームコンサート With 木村多江くアニメーションで贈る世界の名作」を開催します。山形交響楽団によるクラシックの名曲と、俳優・木村多江さんによる朗読、そしてアニメーションをバックに加え、世界の名作「葉っぱのフレディ」をお届けします。一味違ったコンサートをぜひお楽しみください。

皆さんのご来場をお待ちしています

日時 3月30日(土) 午後3時(開場:午後2時15分)
会場 文化センター「大ホール」

指揮 工藤俊幸
朗読 俳優・木村多江
管弦楽 山形交響楽団

入場券(全席指定) 一般500円、高校生以下2000円(当日券500円増)
※未就学児は入場不可
その他 入場券は、1月14日(日)午前10時から文化センターほか各プレイガイドで販売

すかがわ No.5 スポーツ通信

市のスポーツに関する話題などをシリーズで紹介。市スポーツ推進委員連絡協議会(生涯学習スポーツ課内) ☎(88)9174

本市発祥のスポーツ「ラバーバレーボール」

冬の寒い時期でも気軽に楽しめるよう、昭和63年に本市スポーツ推進委員により考案されたスポーツです。

ラバーバレーボールの特徴

▶柔らかいボールのため、突き指をする心配がなく、レシーブしても痛くないので、冬の時期でも老若男女問わず世代を超えて楽しめる

▶シルバー世代の健康の保持・増進に最適

▶変化するボールの動きに翻弄され、思わず笑いが起こる

3月3日(日)にラバーバレーボール大会を開催します。詳しくは、11ページをご覧ください。



本市発祥のスポーツ ラバーバレーボール

すかがわ No.27 特撮シリーズ

特撮に関する情報をシリーズでお知らせします。文化振興課 ☎(94)7174

特撮の仕事～照明～

特撮の照明は、その場面に合った明るさや影を作り出します。壊れるビルの中でバチバチと点滅する光、戦車が発射する光線など、様々な場面に応じて技法を使い分けます。



特撮の撮影では多量の光が必要になるので、爆破シーンなどで大きな炎の塊を表現するためには、通常の蛍光灯より数十倍以上照らせるライトを使用することがあります。

特撮における照明は、シーンを彩り、より本物らしく見せる重要な仕事です。